

平成30年度 基本事業評価シート（平成29年度実績評価）

政策 02 健やかに暮らせるまち

施策 04 健康づくりの推進

基本事業 02 健康的な生活習慣の推進

主管課： 保健センター

関係課： 国保年金課

1 基本事業の目的

対象（誰、何を対象としているか）	意図（どのような状態にしたいのか）
市民	市民が、自ら進んで生活習慣に気を付け、健康的な生活を営むことができるようにする。

2 基本事業の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

1年に1回健診を受けている市民の割合					
					(%) 保健センター
基準値 (H26)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値 (H33)
79.60	80.50	80.20	80.00	80.00	80.00
向上指針	上がると良い	(状況) 昨年度と比較して0.3ポイントの微減でしたが、横ばいの状況です。 (原因) 40歳代以降の年代は80%以上健診を受けていることから、職域健診や特定健診などの制度により受診していることが考えられます。生活習慣病になりやすい年代である40歳代以降の受診率が、目標値の80%以上であることから問題はないと考えます。			
対前年度	横ばい				
目標達成度	達成				
次年度課題	課題としない				

この1年間でがん検診を受診した市民の割合					
					(%) 保健センター
基準値 (H26)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値 (H33)
50.00	50.60	49.10	50.60	52.10	55.00
向上指針	上がると良い	(状況) 昨年度と比較して1.5ポイント減少しました。 (原因) 女性特有の乳がん、子宮がんは65%と向上しました。また、男性は胃・大腸・肺がん共55%以上の受診率がありますが、女性は45%前後と目標値より低い状況です。職域健診などの機会が少ない女性に対して、受診しやすい検査体制の工夫と意識の向上のため、受診勧奨を継続していく必要があります。			
対前年度	横ばい				
目標達成度	低				
次年度課題	課題とする				

市民の健康習慣平均実践項目数					
					(個) 保健センター
基準値 (H26)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値 (H33)
5.30	5.30	5.20	5.30	5.40	5.50
向上指針	上がると良い	(状況) 健康習慣平均実施項目は12項目中0.1項目減少し、5.2項目になりました。 (原因) どの項目とも、60歳代以上は実施率が高くなります。その中で、運動習慣について10代から50代については、20%台と低い状況であり、運動習慣の意識づけの取組が必要と考えます。			
対前年度	横ばい				
目標達成度	低				
次年度課題	課題とする				

基準値 (H26)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値 (H33)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

基準値 (H26)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値 (H33)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

3 基本事業に係るコスト（単位：千円）

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
	決 算	決 算	決 算	予 算	見 込
事業費合計	128,334	127,799	131,229	150,229	150,196
人件費	0	30,886	31,777	0	0
トータルコスト	128,334	158,685	163,006	150,229	150,196

4 基本事業の推進状況と課題

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

女性のがん検診について、受診勧奨と受診しやすい環境整備が必要です。また、県の乳がん検診実施指針において対象年齢が変更されたことから、十分な検討が必要です。	推進状況	一部停滞あり
	次年度への課題	課題あり
	成果方向性	向上
	コスト方向性	維持

5 基本事業を構成する事務事業の評価

[illegible]